

令和8年度 味間小学校の教育

丹波篠山市立味間小学校

1 教育理念

学校は、子どもがしあわせな人生を送るために必要な資質能力を獲得し、仲間を得るところである

2 学校教育目標

みんなが楽しい学校をみんなで作ろう

3 めざす児童像

- ・自分らしく主体的に学び続ける子
- ・多様性を大切にし、対話と協働を通して共に高まる子
- ・「みんなが楽しい学校づくり」に進んで関わろうとする子

4 めざす教職員集団

- ・子ども一人一人に寄り添い、子どもを中心に据えて共に学び続ける教職員集団
- ・対話と学び合いを大切にし、職員室も含め「みんなが楽しい学校」を体現する教職員集団
- ・自ら学びたいテーマを設定し、仲間とともに学びを深める自走する教職員集団

5 重点実践目標と具体的な取組

(1) 安全で安心して学べる教育環境（学校・学年・学級）づくり

- ①「みんなが楽しい学校をみんなで作ろう」という目標を基盤に、子どもが安心して過ごせる学級・学年経営を推進する。
- ②いじめや問題行動・不登校傾向等の課題に対し、未然防止・早期発見・早期対応を組織的に行う。
- ③教職員同士の信頼関係を基盤に、情報共有と児童理解を深めるとともに、専門家や関係機関と連携し、早期支援に努める。
- ④子ども自身が考え判断できるよう、危険予測・危険回避能力を育てる安全教育を推進する。

(2) 夢や目標をもち、自立して挑戦する児童の「生きる力」の育成

- ①児童理解を基盤に、自己有用感・自己受容を高める教育活動を展開する。
- ②学ぶことや働くことの意義を考え、自らの将来を描く力を育むキャリア教育を推進する。
- ③自然体験や社会体験、ものづくり体験等を通して、人や社会とのつながりを実感

させる。

④英語によるコミュニケーション能力の育成や国際理解教育の充実を図る。

(3) 確かな学力の育成と「学び合い」の推進

①主体的・対話的で深い学びの実装に向け、「学び合い」など具体的な方法で授業改善を進める。

②基礎的・基本的な知識・技能の定着を図りつつ、自ら学び方を身につける指導を行う。

③ICT機器の効果的活用により、個別最適な学びと協働的な学びの充実を図る。

④教職員一人一人が自らの強みを生かした授業づくりに挑戦する。

(4) 児童のよさや可能性を引き出す生活づくり

①共感的理解を基盤とし、児童のよさや可能性を引き出す生徒指導を行う。

②子ども自身が考え行動できる力を育てる。

③児童会活動や学級活動を通して、子ども主体の学校づくりを推進する。

(5) 学校・家庭・地域の連携による「地域とともにある学校づくり」

①学校運営協議会を基盤に、保護者・地域と協働した学校運営を進める。

②地域資源を活用したふるさと教育の充実を図る。

③学校だよりやホームページ等を通して教育活動を発信し、信頼される学校づくりを推進する。

(6) 多様性を尊重した特別支援教育の充実

①全職員が組織的にかかわり、一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援を行う。

②すべての子どもの多様性を認め、互いに尊重し合う学びの場をつくる。

③交流及び共同学習の充実を図り、共に学ぶ環境を整える。

(7) 健康・体力の向上と健やかな生活の実現

①自らの健康や体力に関心をもち、主体的に向上させようとする態度を育てる。

②健康教育（感染症予防、食育、薬物乱用防止等）を推進する。

(8) 働きがいのある職場づくりと教職員の成長

①教職員一人一人の主体性を尊重し、任せる経営を基盤とした自立した組織づくりを進める。

②「みんなが楽しい職員室」を継続し、安心して挑戦できる風土を醸成する。

③教職員が自らテーマを設定し、仲間と学び合う自走型の校内研修を推進する。

④業務改善を進め、ワーク・ライフ・バランスを大切にしながら、持続可能な学校運営を実現する。